

第38回全国都市緑化くまもとフェア

ハンギングバスケット・コンテナガーデンコンテスト 審査結果

審査日 令和4年(2022年)5月13日(金)

審査対象 「ハンギングバスケット(40作品)」「コンテナガーデン(10作品)」



熊本市長賞

出展者名 川村 弘美
作品名 花言葉は「ありがとう」
審査員講評

くまもとフェアのテーマカラー(赤、青、緑)のコントラストが効いていてインパクトがありデザインが明確でわかりやすい。横に張り出したボリューム感があり、側面など形も綺麗でとても丁寧に作られており、熊本市長賞にふさわしい作品である。



(公財)都市緑化機構会長賞

出展者名 前田 卓真
作品名 花のある日常
審査員講評

1つのコンテナの空間を絶妙に使って、物語を感じるような植物の世界が広がっている。コンテナでありながら庭を持っているような気持ちになれるような広がりがあるとともに、いろいろな楽しみを取り入れた暖かみを感じられる作品である。



(一社)日本ハンギングバスケット協会 理事長賞

出展者名 原 善子
作品名 PEACE 平和を願って
審査員講評

明るさを表現したさわやかな色がとても印象的である。全体のバランスもよく技術的にもしっかりとしていてレベルが高く、理事長賞にふさわしい作品である。



熊本県花き事業協同組合 理事長賞

出展者名 多田 美歩子
作品名 新緑の風に吹かれて
審査員講評

作品タイトルにふさわしく、みどりのバランスがとれている。今の季節にふさわしいハンギングバスケット作品である。



熊本県花き園芸農業協同組合 代表理事組合長賞

出展者名 吉川 美沙
作品名 「花を紡ぐ」-爽やかな季節に-
審査員講評

さわやかな季節の中で、マリーゴールドのバニラ色がとてもインパクトがあった。凹凸のバランスが優れており、ボリューム感のあるすばらしい作品である。